九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Lydia H. Liu, Translingual Practice: Literature, National Culture, and Translated Modernity——China, 1900-1937 (Stanford: Stanford University Press, 1995)

中里見, 敬
九州大学大学院言語文化研究院 : 助教授 : 中国文学

https://doi.org/10.15017/5562

出版情報：言語文化叢書. 9, pp.181-200, 2004-02-20. Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

ISSN 1348-1800

言語文化研究叢書
Languages and Cultures Research Series
IX

社会開発学をめぐって

徳見道夫 編

九州大学大学院言語文化研究院

Lydia H. Liu,

Translingual Practice: Literature, National Culture, and Translated Modernity —— China, 1900-1937

(Stanford: Stanford University Press, 1995)

中里見　敬

0. はじめに

国際援助・社会開発の分野では、現実に密着した現場主義が最重要であることはいうまでもない。しかし、事業を円滑に推進し、交流を真に実りあるものにするためには、当該地域に対する深い歴史的、文化的理解と共感が不可欠の要素となるであろう。

本稿で紹介する文献は、20 世紀初頭における中国の文化変動を扱ったものである。中国はアヘン戦争での敗北以来、西洋列強および日本からの侵略・支配にさらされ続けた。それはたんに軍事的、政治的、経済的な支配・収奪のみを意味するのではなく、中国の人々の精神的なアイデンティティや世界観までをも根底からゆるがすほどの大事件であった。中国の近代はこのような現実の中で出発し、こうした地点から近代的な国家建設、国民文化の再生を行わねばならなかった。例えば、日本と中国の関係においてつねに議論となる「歴史認識」のような問題も、直接的な原因として日中戦争を取りあげるだけではなく、日本と中国が歩んだ近代化の歴史的文脈の中で不断に思考を続けることによって、はじめてアプローチが可能になる性質のものだと思われる。

その意味で、翻訳をとおして獲得された近代性（モダニティ）という観点にもとづき、人文科学・社会科学全般にかかわるような本書の歴史的な研究は、まさに現在の中国の人々の考え方と感受性をも根底で規定するような、近代中国の文化的苦境を雄弁に解き明かしているのである。

1. 書評と翻訳

本書の日本語訳はいずれも部分訳で、以下のとおり。

リディア・リュウ著、宮川康子訳「言語横断的実践・序説(上)(下)」(『思想』899, 900, 東京：岩波書店, 1999-5, 6)

リディア・リウ著、中里見敬訳「ホモ・エコノミクスと小説的リアリズムの問題」(『言語文化論究』13, 福岡：九州大学大学院言語文化研究院, 2001)

リディア・リウ著、中里見敬訳「『中国新文学大系』の成立」(『言語科学』36, 福岡：九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2001)

リディア・リウ著、中里見敬・清水賢一郎訳「文化と国粋を再考する」(『言語文化論究』14, 福岡 : 九州大学大学院言語文化研究院, 2001)

中国語訳には以下のものがあり、最後のものが全訳である。

劉禾『語際書寫：現代思想史寫作批判綱要』(香港：天地圖書有限公司, 1995)
刘禾『语际书写：现代思想史写作批判纲要』(上海：上海三聯書店, 1999)
刘禾著，宋伟杰等译『跨语际实践：文学，民族文化与被译介的现代性(中国，1900-1937)』(北京：生活・读书・新知三联书店, 2002)

本書に対しては、すでに数多くの書評が発表されている。中国においても多数の書評が出ており、その一部はインターネット上で見ることもできるが、実際の刊行物を入手できなかったので、ここには掲載しない*1。

China Information, vol. XI, no. 1 (Summer 1996), pp. 139-145. Rev. by Michel Hockx.
The Journal of Asian Studies, vol. 55 (Nov. 1996), pp. 989-990. Rev. by Wendy Larson.
Comparative Literature, vol. 49 (Summer 1997), pp. 283-285. Rev. by Wang Ban.
Philosophy East & West, vol. 48, no. 3 (July 1998), pp. 524-529. Rev. by Viren Murthy.
Harvard Journal of Asiatic Studies, vol. 58, no. 2 (Dec. 1998), pp. 568-580. Rev. by Theodore Huters.
Bulletin of the School of Oriental and African Studies, University of London, vol. 61, part 1 (1998), pp. 182-183. Rev. by S. F. Daruvala.
『中國現代史書評選輯』25 (臺北：國史館, 2000)。黄克武評。
『言語科学』38 (福岡 : 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2003)。黄克武評、中里見敬訳。

2. シラバス : 本書を使った授業例

*1 インターネット上で見ることのできる中国の書評には次のようなものがある。
周瓒「互译性：思想史写作的新视点——读刘禾著《语际书写》」(人民日報のウェッブサイト人民书城の書評欄に掲載。『中国妇女报』より転載)
http://www.booker.com.cn/gb/paper19/22/class001900005/hwz156917.htm
杨早「跨越与重构」(『好书』电子版2002.4-5)
http://www.xishu.com.cn/haoshu/2002-4/106.asp
谈火生「林中空地：翻译中生成的现代性」(『二十一世纪』网络版, 2002.11[总第 8 期])
http://www.cuhk.edu.hk/ics/21c/supplem/essay/0209060g.htm

ここでは、実際の授業のシラバスのかたちで、各章ごとに併読すべき文献をあげて、簡単な内容紹介を行う。基本文献はその章で主に論じられるテキストであり、参考文献は立論の背景となる理論的著作である。

第一回

Chapter I, Introduction: The Problem of Language in Cross-Cultural Studies

（第一章、導入：文化横断的研究における言語の問題）

本書の理論的導入であり、「言語横断的実践」という概念が提示される。著者は、二言語間における透明な意味の伝達ととらえる翻訳観とは異なって、翻訳を主言語と客言語の対面の現場、そして正当性をめぐる闘争としてとらえる。こうして言語と文化の政治（ポリティックス）学をめぐる著者の基本的な立場が示される。

［参考文献］

ピエール・ブルデュー著、石崎晴己訳『構造と実践：ブルデュー自身によるブルデュー』（東京：藤原書店, 1991）

ピエール・ブルデュ著、今村仁司ほか共訳『実践感覚』（東京：みすず書房, 1988; 2001）

Bourdieu, Pierre. *Language and Symbolic Power*. Ed. John B. Thompson; trans. Gino Raymond and Matthew Adamson. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1991

ピエール・ブルデュー著、稲賀繁美訳『話すということ：言語的交換のエコノミー』（東京：藤原書店, 1993）

Said, Edward W. *The World, the Text, and the Critic*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1983.

エドワード・W・サイード著、山形和美訳『世界・テキスト・批評家』（東京：法政大学出版局, 1995）

Spivak, Gayatri Chakravorty. *In Other Worlds: Essays in Cultural Politics*. New York: Methuen, 1987.

ガヤトリ・C・スピヴァック著、鈴木聡ほか訳『文化としての他者』（東京：紀伊國屋書店, 1990）

第二回

Part I, Between the Nation and the Individual

（第一部：国家と個人のはざまで）

Chapter 2, Translating National Character: Lu Xun and Arthur Smith

（第二章、国民性を翻訳する：魯迅とアーサー・スミス）

この章で取りあげられる原典は、Arthur H. Smith, *Chinese Characteristics*（1894）、および「阿Q正伝」をはじめとする魯迅の著作である。19 世紀の中国で長くキリスト教布教に従事した宣教師が、中国の人と生活を克明に記して名著の誉れ高い *Chinese Characteristics* と、そこに描かれた中国人の国民性を改造することを文学の使命と考えた魯迅を取りあげ、前者のコロニアリズム、オリエンタリズムを批判するとともに、両者に共通する本質主義的な国民性観を指摘する。言語遂行性（パフォーマティヴィティ）の観点から、他者を表象す

ることの権力と暴力が明らかにされる。

［基本文献］

Smith, Arthur H. *Chinese Characteristics*. New York: Revell, 1894; Safety Harbor, FL.: Simon Publications, 2001.

アーサー・エチ・スミス著、渋江保訳『支那人気質』（東京：博文館，1896）

A.H.スミス著、白神徹訳『支那的性格』（東京：中央公論社, 1940）

亜瑟 ·亨 ·史密斯、張夢陽・王麗娟訳『中国人気質：外国人的中国観』(蘭州：敦煌文芸出版社, 1995)

明恩溥、匡雁鵬訳『中国人的特性: 全譯本』(北京：光明日報出版社, 1998)

明恩溥、秦悦訳『中国人的素質』(上海：学林出版社, 1999; 2001）

［参考文献］

J. L. オースティン著、坂本百大訳『言語と行為』（東京：大修館書店, 1978）

エドワード・W・サイード著、今沢紀子訳『オリエンタリズム』（東京：平凡社, 1986; 1993）

ガヤトリ・C・スピヴァク著、上村忠男訳『サバルタンは語ることができるか』（東京：みすず書房, 1998）

第三回

Chapter 3, The Discourse of Individual

（第三章、個人主義の言説）

"Individual"という語および概念が、中国語に翻訳され定着していく過程を、言説分析の観点から論じる。ここでも従来の研究が「個人」や「個人主義」を本質主義的にとらえることに終始していることを批判し、「自我」、「我」、「己」といった伝統的な中国語ではなく、日本語由来の「個人」を借用することによって構築された「個人主義」という言説の正当性を問題化する。翻訳とはけっして透明な言語間の変換などではなくて、主言語と客言語の接触・衝突により、新たな語と意味が正当性を獲得していく闘争の現場、まさに言語実践の政治学なのである。

［参考文献］

ミシェル・フーコー著、渡辺一民、佐々木明訳『言葉と物：人文科学の考古学』（東京：新潮社, 1974）

ミシェル・フーコー著、中村雄二郎訳『知の考古学』(東京：河出書房新社, 1981; 1995)

上野千鶴子編『構築主義とは何か』（東京：勁草書房, 2001）

第四回

Part II, Translingual Modes of Representation

（第二部、表象の言語横断的モード）

Chapter 4, *Homo Economicus* and the Question of Novelistic Realism

（第四章、ホモ・エコノミクスと小説的リアリズムの問題）

第二部では、西洋文学の翻訳によって、中国語と中国文学の文体にどのような変化が生じたかという翻訳の問題から出発して、その結果、新たな個人、新たな女性／男性像、

さらには個人の内面や欲望が構築されたかという文化の翻訳の問題に行き着く。従来の西洋の影響によって中国の近代化が促されたという従来の考え方に対して、ここでは翻訳によって構築された近代という見方が示される。

まず本章では、作中人物の内面の声を伝達する自由間接話法が取りあげられる。

［基本文献］

老舎『駱駝祥子』（上海：文化生活出版社，1949，第八版）

『老舎文集』第三巻（北京：人民文学出版社，1982）

Lao She. *Rickshaw: The Novel Lo-t'o Hsiang Tzu*. Trans. Jean M. James. Honolulu: University of Hawaii Press, 1979.

老舎著、竹中伸訳『駱駝祥子』（東京：新潮社, 1948）

老舎著、岡本隆三訳「駱駝の祥子」（『老舎作品集』東京：青木書店, 1955）

老舎著、飯塚朗訳「駱駝のシャンヅ」（『世界名作全集 33　阿 Q 正伝他』（東京：平凡社, 1960）

老舎著、飯塚朗訳『駱駝のシャンヅ』（角川書店, 1961）

老舎著、市川宏、杉本達夫訳「駱駝祥子」（『世界文学全集カラー版　第 35 巻　阿 Q 正伝、狂人日記他』（東京：河出書房新社, 1969）

老舎著、立間祥介訳『駱駝祥子：らくだのシアンツ』（東京：岩波書店, 1980）

第五回

Chapter 5, Narratives of Desire: Negotiating the Real and the Fantastic

（第五章、欲望の語り：現実と幻想にわたりをつける）

文体変革によって内面性を獲得した中国の近代文学が、フロイトの精神分析に代表される、夢や妄想、性的欲望を、いかにして新たなテーマとして獲得していったかが論じられる。あわせてフェミニズム批評からの論点も加えられる。

［基本文献］

郭沫若「残春」（『沫若文集』第 5 巻、北京：人民文学出版社，1957 ;『郭沫若全集』文学編第 9 巻，北京：人民文学出版社, 1985）

施蟄存「魔道」（『梅雨之夕』上海：新中国書局， 1933 ; 哈尔濱：黒龍江人民出版社、哈尔濱 ：北方文藝出版社, 1997）

郁達夫「還郷記」（『郁達夫全集』上海：北新書局， 1930 ;『達夫代表作』上海：現代書局, 1930）

［参考文献］

高橋義孝訳『フロイト著作集』第二巻「夢判断」（京都：人文書院, 1968）

第六回

Chapter 6, The Deixis of Writing in the First Person

（第六章、一人称で書くときのダイクシス）

伝統的な中国文学には見られなかった一人称の語りによって、近代の中国文学はどのような個人を創出したのか。男性作家の語りと、女性作家の語りを比較することによって、両者のちがいを浮き彫りにする。

［基本文献］

沈従文「三個男人和一個女人」（凌宇編『沈従文小説選』北京：人民文学出版社, 1982）

沈従文著、中里見敬、2002 年度後期「アジア言語文化論 II ／ IV」受講生訳「三人の男と一人の女」（『湘西：沈従文研究』5, 恵庭：湘西刊行会, 2003）

Shen Ts'ung-wen, "Three Men and a Girl." In *The Chinese Earth*. Trans. Ching Ti and Robert Payne. London: George Allen & Unwin, 1947; New York: Columbia University Press, 1982.

魯迅「傷逝」（『魯迅全集』第 2 巻、北京：人民文学出版社, 1981）

魯迅「傷逝」（『魯迅全集』第 2 巻、東京：学習研究社, 1984）

Lu Hsün. "Regret for the Past." In *The Complete Stories of Lu Xun*. Trans. Yang Xianyi and Gladys Yang. Bloomington: Indiana University Press; Beijing: Foreign Languages Press, 1981.

丁玲「莎菲女士的日記」（『丁玲短篇小説選』北京：人民文学出版社, 1981）

丁玲著、岡崎俊夫訳「莎菲（ソフィ）女士の日記」（『霞村にいた時』東京：岩波書店, 1956）

Ding Ling, *I Myself Am a Woman: Selected Writings of Ding Ling*. Eds. Tani E. Barlow and Gary J. Bjorge. Boston: Beacon Press, 1989.

［参考文献］

ジュディス・バトラー著、竹村和子訳『ジェンダー・トラブル：フェミニズムとアイデンティティの攪乱』（東京：青土社, 1999）

第七回

Part III, Nation Building and Culture Building

（第三部、国民（国家）建設と文化建設）

Chapter 7, Literary Criticism as a Discourse of Legitimation

（第七章、正当化言説としての文学批評）

満洲国出身の若い女性・蕭紅は、魯迅の援助により、小説『生死場』で作家としてデビューし、一躍、抗日文学の旗手となった。しかし、『生死場』は男性批評家がいうような国民国家の物語ではなく、農村における家父長的伝統と女性の生と性の葛藤を描いたものであることを、フェミニズム批評の立場から論じ、現代中国文学の正典を転覆的に読み直す。文学の正典が生まれるに際して作用する権力や制度を明らかにすると同時に、国民国家・国民文学の成立によって、抑圧された女性の声を救い出す画期的な批評である。

［基本文献］

蕭紅「生死場」（『蕭紅全集』哈爾濱：哈爾濱出版社, 1991; 1998）

Hsiao Hung. *The Field of Life and Death and Tales of Hulan River*. Trans. Howard Goldblatt and Ellen Yeung. Bloomington: Indiana University Press, 1979.

［参考文献］

孟悦，戴锦华著『浮出历史地表：现代妇女文学研究』（郑州：河南人民出版社，1989）

孟悦、戴錦華著、田畑佐和子訳「ことばを取り戻す女のたたかい：『歴史の地表に浮かび出る』序」（秋山洋子ほか編訳『中国の女性学：平等幻想に挑む』東京：勁

草書房, 1998）
李小江著、秋山洋子訳『女に向かって：中国女性学をひらく』（東京：インパクト出版会, 2000）
タニ・E・バーロウ著、伊藤るり、小林英里訳『国際フェミニズムと中国』（東京：御茶の水書房, 2003）

第八回
Chapter 8, The Making of the *Compendium of Modern Chinese Literature*
（第八章、『中国新文学大系』の成立）
『中国新文学大系』という近代中国最初の文学叢書の編集と刊行の過程を、文学外部の文化的・社会的コンテクストにおいて論じ、文学の正典を作りだす社会学・政治学が問題化される。
［参考文献］
ピエール・ブルデュー著、石井洋二郎訳『ディスタンクシオン：社会的判断力批判』（東京：新評論, 1989；東京：藤原書店, 1990）

第九回
Chapter 9, Rethinking Culture and National Essence
（第九章、文化と国粋を再考する）
国粋派と学衡派という近代中国における二つの保守的なグループを取りあげて、西洋との出会いを通して自己をどのように再認識するのか、中国を表象＝代表する権利は誰にあるのか、といったオリエンタリズム以後の問題設定のもとに、文化や国粋、ナショナリズムをめぐる清末から民国初期の議論を再考する。
［参考文献］
孫歌著、丸川哲史ほか訳『アジアを語ることのジレンマ：知の共同空間を求めて』（東京：岩波書店, 2002）
孙歌『亞洲意味著什麼：文化間的「日本」』（台北：巨流圖書公司, 2001）

3. 文化を論じるための文献リスト

ここでは、原著の Selected Bibliography から、日本語訳または中国語訳のある文献に限って抽出して分類を試みる（雑誌掲載論文は除く）*2。これにより、原著者の立論のもととなった重要な先行研究が一覧できるだけでなく、文化研究を志す入門者が読むべき文献ガイドの役割をはたすことが期待できる。翻訳のない文献を含めた本書の参考文献全体については、原著をあたっていただきたい。なお、本書刊行時に未刊の博士論文で、その後公刊されたものについては★印を付して補った。それ以外は基本的に原著に

*2 中国語訳についてはとりわけ遺漏が多いことと思う。ご指摘をいただければ幸いである。

したがった。そのため 1995 年以降の最新の状況については、別に文献調査が必要である*3。

分類は、言語学・翻訳論、哲学・歴史、批評理論・解釈学、文学、ポストコロニアル理論、ジェンダー研究、精神分析、社会科学、文化人類学、中国研究、日本研究としたが、厳密なものではなく、あくまで便宜的なものである。各分類の中では、著者の姓のアルファベット順に排列した。本書にあげられている文献以外の日本語訳や中国語訳は、中里見が調査したものである。また基本的に原著によったため、ドイツ語・フランス語・ロシア語等の文献は英語訳のみをあげている。

このリストは文献ガイドであると同時に、仔細にながめることによってアメリカ・中国・日本における中国文化研究のポリティックスをかいま見ることもできよう。日本人の原著で、英語・中国語に翻訳された数少ないものに、小野和子『中国女性史』がある。この本はジェンダー研究が脚光をあびるはるか以前の 1978 年に刊行されたもので、小野氏は AAS（Association for Asian Studies）より 2000 年の Award for Distinguished Contributions to Asian Studies を贈られている。そして、小野氏は定年退官直前に三重大学教授を務めるまで、ほとんどの研究生活を京都大学助手として過ごされたのであった。このような経歴は日本の男性研究者ではありえないことだ。小野氏の「境界横断的」な活動を称賛する AAS の受賞理由の文章は感動的でさえある*4。

［言語学・翻訳論］

Benveniste, Émile. *Problems in General Linguistics*. Trans. Mary Elizabeth Meek. Coral Gables, Fla.: University of Miami Press, 1971.

É. バンヴェニスト著、岸本通夫監訳『一般言語学の諸問題』（東京：みすず書房, 1983）

Brower, Reuben Arthur, ed. *On Translation*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1959.

ルーベン・A.ブロアー等著、日本科学技術翻訳協会編『翻訳のすべて』（東京：日本科学技術翻訳協会, 1970）

Jakobson, Roman. *Language in Literature*. Ed. Krystyna Pomorska and Stephen Rudy. Cambridge, Mass.: Belknap Press, 1987.

R. ヤーコブソン著、田村すゞ子ほか共訳『一般言語学』（東京：みすず書房, 1973）

ロマーン・ヤーコブソン著、川本茂雄編、川本茂雄、千野栄一監訳『ロマーン・ヤーコブソン選集 3 詩学』（東京：大修館書店, 1985）

---

*3 ジョゼフ・チルダーズ、ゲーリー・ヘンツィ編、杉野健太郎ほか訳『コロンビア大学現代文学・文化批評用語辞典』（東京：松柏社, 1999）や、ピーター・ブルッカー著、有元健、本橋哲也訳『文化理論用語集：カルチュラル・スタディーズ+(プラス)』（東京：新曜社, 2003）などにも、日本語訳書を含む参考文献があげられている。

*4 受賞理由は、http://www.aasianst.org/distinguished.htm で見ることができる。その最後に述べられていることについては、小野和子編『京大・矢野事件：キャンパス・セクハラ裁判の問うたもの』（東京：インパクト出版会, 1998）参照。

花輪光編『詩の記号学のために：シャルル・ボードレールの詩篇「猫たち」を巡って』（東京：書肆風の薔薇, 1985）
大石雅彦、田中陽編『ロシア・アヴァンギャルド 3　キノ：映像言語の創造』（東京：国書刊行会, 1994）
桑野隆、大石雅彦編『ロシア・アヴァンギャルド 6　フォルマリズム：詩的言語論』（東京：国書刊行会, 1988）
罗曼 ·雅柯布森著、钱军、王力译注『雅柯布森文集』（长沙：湖南教育出版社, 2001）
Mounin, Georges. *Les problèmes théoriques de la traduction*. Paris: Gallimard, 1963.
ジョルジュ・ムーナン著、伊藤晃ほか訳『翻訳の理論』（東京：朝日出版社, 1980）
Steiner, George. *After Babel: Aspects of Language and Translation*. London: Oxford University Press, 1975.
ジョージ・スタイナー著、亀山健吉訳『バベルの後に：言葉と翻訳の諸相』（東京：法政大学出版局, 1999）
Whorf, Benjamin Lee. *Language, Thought, and Reality: Selected Writings of Benjamin Lee Whorf*. Ed. John B. Carroll. Cambridge, Mass.: M.I.T. Press, 1956.
ベンジャミン・リー・ウォーフ著、ジョン B.キャロル編、有馬道子訳『言語・思考・実在：完訳：ベンジャミン・リー・ウォーフ論文選集』（東京：南雲堂, 1978; 1988）
ウォーフ著、J.B. キャロル編、池上嘉彦訳『言語・思考・現実：ウォーフ言語論選集』（東京：弘文堂, 1978；東京：講談社, 1993）
本杰明 ·李 ·沃尔夫著、高一虹等译『论语言、思维和现实：沃尔夫文集』（长沙：湖南教育出版社, 2001）

［哲学・歴史］

Anderson, Benedict. *Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism*. London: Verso, 1983; 1991.
ベネディクト・アンダーソン著、白石さや、白石隆訳『想像の共同体：ナショナリズムの起源と流行』（東京：リブロポート, 1987；増補版、東京：NTT 出版, 1997）
本尼迪克特・安德森著、吳叡人译『想象的共同体：民族主义的起源与散布』（台北：时报出版公司, 1999；上海：上海人民出版社, 2003）
Berlin Isaiah. *Vico and Herder.* London: Hogarth, 1976.
アイザィア・バーリン著、小池銈訳『ヴィーコとヘルダー：理念の歴史・二つの試論』（東京：みすず書房, 1981）
Gadamer, Hans Georg. *Truth and Method*. Trans. Garrett Barden and John Cumming. New York: Crossroad, 1975.
ハンス=ゲオルク・ガダマー著、轡田収ほか訳『真理と方法：哲学的解釈学の要綱』（東京：法政大学出版局, 1986）
伽达默尔著、王才勇译『真理与方法：哲学解释学的基本特征』（沈阳：辽宁人民出版社, 1987）
加达默尔著、洪汉鼎译『真理与方法：哲学诠释的基本特征』（上海：上海译文出版社, 1992）
Goethe, Johann Wolfgang von. *Conversations with Eckermann*. Trans. John Oxenford. San

Francisco: North Point Press, 1984.
エッカーマン著、芳賀檀訳『ゲーテ：エッカーマンとの對話』（東京：世界社, 1949）
Herder, Johann Gottfried von. *Outlines of a Philosophy of the History of Man*. Trans. T. Churchill. New York: Bergman Publishers, 1966.
ヨハン・ゴットフリイト・フォン・ヘルデル著、田中萃一郎、川合貞一共訳『歴史哲学』（東京：国民図書, 1925；東京：第一書房, 1932；京都：丁子屋書店, 1948）
ヨハン・ゴットフリート・ヘルダー著、鼓常良訳『人間史論』（東京：白水社, 1948-1949）
Poliakov, Léon. *The Aryan Myth: A History of Racist and Nationalist Ideas in Europe*. Trans. Edmund Howard. London: Chatto & Windus Heinemann for Sussex University Press, 1974.
レオン・ポリアコフ著、アーリア主義研究会訳『アーリア神話：ヨーロッパにおける人種主義と民族主義の源泉』（東京：法政大学出版局, 1985）
Rorty, Richard. *Philosophy and the Mirror of Nature*. Princeton: Princeton University Press, 1979.
リチャード・ローティ著、野家啓一監訳『哲学と自然の鏡』（東京：産業図書, 1993）
Stirner, Max. *The Ego and His Own*. Trans. Steven T. Byington. London: A.C. Fifield, 1913.
マックス・スチルネル著、辻潤訳『自我經：唯一者と其所有』（東京：改造社, 1921）
スティルネル著、草間平作譯『唯一者とその所有』（東京：岩波書店, 1929）
シュティルナー著、片岡啓治訳『唯一者とその所有』（東京：現代思潮社, 1967-1968）
マクス・ステイルネル著、生田長江、高橋清訳「唯一者と其所有」（『社會思想全集』第 25 巻、東京：平凡社, 1929）
施蒂纳著, 金海民译『唯一者及其所有物』（北京：商务印书馆, 1989）

[批評理論・解釈学]
de Man, Paul, *The Resistance to Theory*. Minneapolis: University of Minnesota Press, 1986.
ポール・ド・マン著、大河内昌、富山太佳夫訳『理論への抵抗』（東京：国文社， 1992）
Jacques Derrida, "Des Tours de Babel," trans. Joseph F. Graham, in J. F. Graham, ed., *Difference on Translation*. Ithaca: Cornell University Press, 1985, 165-207.
ジャック・デリダ「バベルの塔」（高橋允昭編訳『他者の言語：デリダの日本講演』東京：法政大学出版局, 1989）
Derrida, Jacques. *Of Grammatology*. Trans. Gayatri Chakravorty Spivak. Baltimore: Johns Hopkins University Press, 1976
ジャック・デリダ著、足立和浩訳『根源の彼方に：グラマトロジーについて』（東京：現代思潮社, 1972-1976）
雅克 ·德里达著、汪堂家译『论文字学』（上海：上海译文出版社, 1999）
Derrida, Jacques. *Positions*. Trans. Alan Bass. Chicago: University of Chicago Press, 1981
ジャック・デリダ著、高橋允昭訳『ポジシオン』（東京：青土社, 1981; 1988; 1992; 2000）
Derrida, Jacques. *Writing and Difference*. Trans. Alan Bass. Chicago: University of Chicago Press, 1978.
ジャック・デリダ著、若桑毅ほか訳『エクリチュールと差異』（東京：法政大学出版局,

1977-1983）
雅克 ·德里达著、张宁译『书写与差异』（北京：生活 ·读书 ·新知三联书店, 2001）
Eagleton, Terry. *The Ideology of the Aesthetic*. Oxford: Basil Blackwell, 1990.
テリー・イーグルトン著、鈴木聡ほか訳『美のイデオロギー』（東京：紀伊国屋書店, 1996）
特里 ·伊格尔顿著、王杰等译『审美意识形态』（桂林：广西师范大学出版社, 1997）
Foucault, Michel. *The Archaeology of Knowledge and the Discourse on Language*. Trans. A. M. Sheridan Smith. New York: Pantheon Books, 1972.
ミシェル・フーコー著、中村雄二郎訳『知の考古学』（東京：河出書房新社, 1981; 1995）
米歇尔 ·福柯著、谢强、马月译『知识考古学』（北京：三联书店, 2003）
Foucault, Michel. *The Order of Things: An Archaeology of the Human Sciences*. New York: Pantheon Books, 1970.
ミシェル・フーコー著、渡辺一民、佐々木明訳『言葉と物：人文科学の考古学』（東京：新潮社, 1974）
米歇尔 ·福柯著、莫伟民译『词与物：人文科学考古学』（上海：上海三联书店, 2001）
Heidegger, Martin. *On the Way to Language*. Trans. Peter D. Hertz. New York: Harper & Row, 1971.
マルティン・ハイデッガー著、手塚富雄訳『ことばについての対話：ハイデガー選集 21』（東京：理想社，1968）
ハイデッガー著、亀山健吉、ヘルムート・グロス訳『言葉への途上』（ハイデッガー全集 第 12 巻，東京：創文社, 1996）
海德格著、孫周興譯『走向語言之途』（臺北：時報文化出版公司, 1993）
海德格尔著、孙周兴译『在通向语言的途中』（北京：商务印书馆, 1997）

［文学］

Adorno, Theodor W. *Notes to Literature*. Trans. Shierry Weber Nicholsen. 2 vols. New York: Columbia University Press, 1991-1992.
Th.W.アドルノ著、三光長治ほか訳『文学ノート』（東京：イザラ書房, 1978）
Auerbach, Erich. *Mimesis: The Representation of Reality in Western Literature*. Trans. Willard R. Trask. Princeton: Princeton University Press, 1953.
E.アウエルバッハ著、篠田一士、川村二郎訳『ミメーシス：ヨーロッパ文学における現実描写』（東京：筑摩書房, 1967; 1994）
Bakhtin, Mikhail. *The Dialogic Imagination*. Trans. Michael Holquist and Caryl Emerson. Austin: University of Texas Press, 1981.
伊藤一郎訳『小説の言葉：ミハイル・バフチン著作集５』（東京：新時代社, 1979）
北岡誠司訳『小説の時空間：ミハイル・バフチン著作集６』（東京：新時代社, 1987）
ミハイル・バフチン著、伊東一郎ほか訳『ミハイル・バフチン全著作第５巻　小説における時間と時空間の諸形式他：一九三〇年代以降の小説ジャンル論』（東京：水声社, 2001）
巴赫金著、白春仁、晓河译『巴赫金全集 第三卷:小说理论』（石家庄：河北教育出版社, 1998）

Bakhtin, Mikhail. *Rabelais and his World*. Trans. Hélène Iswolsky. Bloomington: Indiana University Press, 1984.
ミハイール・バフチーン著、川端香男里訳『フランソワ・ラブレーの作品と中世・ルネッサンスの民衆文化』（東京：せりか書房, 1973; 1980; 1988）
巴赫金著、李兆林,夏忠宪等译『巴赫金全集 第六卷：拉伯雷研究』（石家庄：河北教育出版社, 1998）
Barthes, Roland. *S/Z*. Trans. Richard Miller. New York: Hill and Wang, 1974.
ロラン・バルト著、沢崎浩平訳『S/Z：バルザック「サラジーヌ」の構造分析』（東京：みすず書房, 1973）
罗兰 ·巴特著、屠友祥译『S/Z』（上海：上海人民出版社, 2000）
Benjamin, Walter. *Illuminations*. Trans. Harry Zohn. New York: Harcourt, Brace & World, 1968.
『ヴァルター・ベンヤミン著作集』（東京：晶文社, 1969-1981）
『ベンヤミンの仕事』（東京：岩波書店, 1994）
『ベンヤミン・コレクション』（東京：筑摩書房, 1995-1997）
瓦尔特 ·本雅明著、张旭东、王斑訳『启迪：本雅明文选』（香港：牛津大学出版社，1998）
Booth, Wayne. *The Rhetoric of Fiction*. Chicago: University of Chicago Press, 1961.
ウェイン・C.ブース著、米本弘一、服部典之、渡辺克昭訳『フィクションの修辞学』（東京：書肆風の薔薇；東京：白馬書房, 1991）
布斯著、华明等译『小说修辞学』（北京：北京大学出版社, 1987）
布斯著、付礼军译『小说修辞学』（南寧：広西人民出版社, 1987）
Breton, André. *Manifestoes of Surrealism*. Trans. Richard Seaver and Helen R. Lane. Ann Arbor: University of Michigan Press, 1969.
アンドレ・ブルトン著、巖谷國士訳『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』（東京：岩波書店, 1992）
Dällenbach, Lucien. *The Mirror in the Text*. Jeremy Whiteley with Emma Hughes. Chicago: University of Chicago Press, 1989.
リュシアン・デーレンバック著、野村英夫、松澤和宏訳『鏡の物語：紋中紋手法とヌーヴォー・ロマン』（東京：ありな書房, 1996）
Genette, Gérard. *Narrative Discourse: An Essay in Method*. Trans. Jane E. Lewin. Ithaca: Cornell University Press, 1980.
ジェラール・ジュネット著、花輪光、和泉涼一訳『物語のディスクール：方法論の試み』（東京：書肆風の薔薇, 1985；東京：水声社, 1991）
热拉尔 ·热奈特著，王文融译《叙事话语・新叙事话语》(北京：中国社会科学出版社, 1990)
Lukács, Georg. *The Theory of the Novel: A Historico-philosophical Essay on the Forms of Great Epic Literature*. Trans. Anna Bostock. Cambridge, Mass.: M.I.T. Press, 1971.
ルカーチ著、大久保健治ほか訳『小説の理論』（東京：白水社, 1986）
Rushdie, Salman. *The Satanic Verses: A Novel*. New York: Picador USA, 1988.
サルマン・ラシュディ著、五十嵐一訳『悪魔の詩』（東京：プロモーションズ・ジャンニ, 1990）

Thibaudet, Albert. *Gustave Flaubert*. Paris: Gallimard, 1935.
A.チボーデ著、戸田吉信訳『フローベール論』(東京：冬樹社, 1966)
アルベール・チボーデ著、戸田吉信訳『ギュスターヴ・フロベール』(東京：法政大学出版局, 2001)
Todorov, Tzvetan. *The Fantastic: A Structural Approach to a Literary Genre*. Trans. Richard Howard. Cleveland: Press of Case Western Reserve University, 1973.
ツヴェタン・トドロフ著、渡辺明正、三好郁朗訳『幻想文学：構造と機能』(東京：朝日出版, 1975)
ツヴェタン・トドロフ著、三好郁朗訳『幻想文学論序説』(東京：東京創元社, 1999)
Watt, Ian. *The Rise of the Novel: Studies in Defoe, Richardson and Fielding*. London: Chatto & Windus, 1957.
Ian Watt 著、橋本宏ほか訳『イギリス小説の勃興』(東京：鳳書房, 1998)
イアン・ワット著、藤田永祐訳『小説の勃興』(東京：南雲堂, 1999)
伊恩・P・瓦特著、高原、董紅鈞訳『小説的興起：笛福、理查遜、菲爾丁研究』(北京：生活・讀書・新知三聯書店, 1992)

[ポストコロニアル理論]

Said, Edward W. *Culture and Imperialism*. New York: Alfred A. Knopf, 1993.
エドワード・W・サイード著、大橋洋一訳『文化と帝国主義』(東京：みすず書房, 1998-2001)
愛德華 ·薩伊德著、蔡源林譯『文化與帝國主義』(臺北：立緒文化事業有限公司, 2000)
Said, Edward W. *Orientalism*. New York: Pantheon Books, 1978.
エドワード・W・サイード著、今沢紀子訳『オリエンタリズム』(東京：平凡社, 1986; 1993)
爱德华・W・萨义德著，王宇根译《东方学》(北京：生活・读书・新知三联书店, 1999)
Said, Edward W. *The World, the Text, and the Critic*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1983.
エドワード・W・サイード著、山形和美訳『世界・テキスト・批評家』(東京：法政大学出版局, 1995)
Spivak, Gayatri Chakravorty. "Can the Subaltern speak?" In Cary Nelson and Lawrence Grossberg, eds., *Marxism and the Interpretation of Culture*. Urbana: University of Illinois Press, 1988, pp. 271-313.
ガヤトリ・C・スピヴァク著、上村忠男訳『サバルタンは語ることができるか』(東京：みすず書房, 1998)
Spivak, Gayatri Chakravorty. *In Other Worlds: Essays in Cultural Politics*. New York: Methuen, 1987.
ガヤトリ・C・スピヴァック著、鈴木聡ほか訳『文化としての他者』(東京：紀伊國屋書店, 1990)

[ジェンダー研究]

Butler, Judith. *Gender Trouble: Feminism and the Subversion of Identity*, New York: Routledge, 1990.
ジュディス・バトラー著、竹村和子訳『ジェンダー・トラブル：フェミニズムとアイデンティティの攪乱』（東京：青土社, 1999）

［精神分析］
Deleuze, Gilles, and Félix Guattari. *Anti-Oedipus: Capitalism and Schizophrenia*. Trans. Robert Hurley, Mark Seem, and Helen R. Lane. New York: Viking Press, 1977.
ジル・ドゥルーズ，フェリックス・ガタリ著、市倉宏祐訳『アンチ・オイディプス』（東京：河出書房新社, 1986）
Freud, Sigmund. *Dora: An Analysis of a Case of Hysteria*. New York: Collier Books, 1963.
細木照敏・飯田真訳「あるヒステリー患者の分析の断片」，懸田克躬・高橋義孝訳『フロイト著作集』第五巻（京都：人文書院，1969）
Freud, Sigmund. *The Interpretation of Dreams*. The Standard Edition of the Complete Psychological Works of Sigmund Freud, Vols. 4-5. London: Hogarth Press, 1953.
高橋義孝訳『フロイト著作集』第二巻「夢判断」（京都：人文書院, 1968）
Freud, Sigmund. "The Uncanny." Standard Edition, Vol. 17. London: Hogarth Press, 1955.
高橋義孝ほか訳『フロイト著作集』第三巻「無気味なもの」（京都：人文書院，1969）；高橋義孝・池田紘一訳『フロイド選集』第七巻「無気味なもの」（東京：日本教文社，1970）
Marcuse, Herbert. *Eros and Civilization: A Philosophical Inquiry into Freud*. Boston: Beacon Press, 1955.
ハーバート・マルクーゼ著、南博訳『エロス的文明』（東京：紀伊国屋書店, 1958）

［社会科学］
Althusser, Louis. *For Marx*. Trans. Ben Brews. London: Allen Lane, 1969.
ルイ・アルチュセール著、河野健二、田村俶訳『甦るマルクス』（京都：人文書院, 1968）
ルイ・アルチュセール著、河野健二、田村俶、西川長夫訳『マルクスのために』（東京：平凡社, 1994）
Bourdieu, Pierre. *Distinction: A Social Critique of the Judgement of Taste*. Trans. Richard Nice. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1984
ピエール・ブルデュー著、石井洋二郎訳『ディスタンクシオン：社会的判断力批判』（東京：新評論, 1989；東京：藤原書店, 1990）
Bourdieu, Pierre. *Homo Academicus*. Paris: Minuit, 1984.
Bourdieu, Pierre. *Homo Academicus*. Trans. Peter Collier. Stanford: Stanford University Press, 1988.
ピエール・ブルデュー著、石崎晴己、東松秀雄訳『ホモ・アカデミクス』（東京：藤原書店, 1997）
Bourdieu, Pierre. *Language and Symbolic Power*. Ed. John B. Thompson; trans. Gino Raymond and Matthew Adamson. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1991.

ピエール・ブルデュー著、稲賀繁美訳『話すということ：言語的交換のエコノミー』（東京：藤原書店, 1993）
Fanon, Frantz. *Black Skin, White Masks*. Trans. Charles Lam Markmann. New York: Grove Press, 1967.
フランツ・ファノン著、海老坂武、加藤晴久訳『黒い皮膚・白い仮面』（東京：みすず書房, 1970; 1998）
Jay, Martin. *Permanent Exiles: Essays on the Intellectual Migration from Germany to America*. New York: Columbia University Press, 1985.
マーティン・ジェイ著、今村仁司ほか 訳『永遠の亡命者たち：知識人の移住と思想の運命』（東京：新曜社, 1989）
Taylor, Charles. "The Person." In Michael Carrithers, Steven Collins, and Steven Lukes, eds. *The Category of the Person: Anthropology, Philosophy, History*. Cambridge: Cambridge University Press, 1985.
チャールズ・テイラー「人格（パーソン）」（マイクル・カリザス、スティーヴン・コリンズ、スティーヴン・ルークス編、厚東洋輔、中島道男、中村牧子訳『人というカテゴリー』東京：紀伊國屋書店, 1995）
Williams, Raymond. *Keywords: A Vocabulary of Culture and Society*. London: Harper Collins, 1976.
レイモンド・ウィリアムズ著、岡崎康一訳『キイワード辞典』（東京：晶文社, 1980）
レイモンド・ウィリアムズ著、椎名美智ほか訳『完訳キーワード辞典』（東京：平凡社, 2002）

［文化人類学］

Carrithers, Michael, Steven Collins, and Steven Lukes, eds. *The Category of the Person: Anthropology, Philosophy, History*. Cambridge: Cambridge University Press, 1985.
マイクル・カリザス、スティーヴン・コリンズ、スティーヴン・ルークス編、厚東洋輔、中島道男、中村牧子訳『人というカテゴリー』（東京：紀伊國屋書店, 1995）
Clifford, James, and George E. Marcus. *Writing Culture: The Poetics and Politics of Ethnography*. Berkeley: University of California Press, 1986.
ジェイムズ・クリフォード、ジョージ・マーカス編、春日直樹ほか訳『文化を書く』（東京：紀伊國屋書店, 1996）
Goody, Jack. *The Domestication of the Savage Mind.* Cambridge, Eng.: Cambridge University Press, 1977.
J. グディ著、吉田禎吾訳『未開と文明』（東京：岩波書店, 1986）
Hobsbawm, Eric, and Terence Ranger, eds. *The Invention of Tradition*. Cambridge Eng.: Cambridge University Press, 1983.
E・ホブズボウム、T・レンジャー編、前川啓治、梶原景昭ほか訳『創られた伝統』（東京：紀伊國屋書店, 1992）
Sperber, Dan. *On Anthropological Knowledge: Three Essays*. Cambridge and New York: Cambridge University Press, 1985.

ダン・スペルベル著、菅野盾樹訳『人類学とはなにか：その知的枠組を問う』（東京：紀伊国屋書店, 1984）

［中国研究］

阿英　→　銭杏邨を見よ
Alitto, Guy. *The Last Confucian: Liang Shu-ming and the Chinese Dilemma of Modernity*. Berkeley: University of California Press, 1979.
艾愷著、王宗昱、冀健中訳『最后的儒家：梁漱溟与中国現代化的両難』（南京：江蘇人民出版社, 1993）
Anderson, Marston. *The Limits of Realism: Chinese Fiction in the Revolutionary Period*. Berkeley: University of California Press, 1990.
安敏成著、姜涛译『现实主义的限制：革命时代的中国小说』(南京：江苏人民出版社, 2001)
Chen Xiaomei. *Occidentalism: A Theory of Counter-Discourse in Post-Mao China*. Oxford: Oxford University Press, 1994.
チェン・シャオメイ著、篠崎香織訳「オクシデンタリズム」（序文のみの抄訳）、『批評空間』第 II 期第 11 号（東京：太田出版, 1996.10）
Chang, Hao. *Liang Ch'i-ch'ao and Intellectual Transition in China, 1890-1907*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1971.
张灏著、崔志海、葛夫平译『梁启超与中国思想的过渡：1890-1907』（南京：江苏人民出版社, 1997）
Chang, Hao. *Chinese Intellectuals in Crisis: Search for Order and Meaning（1890-1911）*（Berkeley: University of California Press, 1987）
張灝、高力克・王躍・許殿才訳、李強校『危機中的中国知識分子：尋求秩序与意義』（太原：山西人民出版社, 1988）
Chow, Rey. *Woman and Chinese Modernity: The Politics of Reading Between West and East*. Minneapolis: University of Minnesota Press, 1991.
レイ・チョウ著、田村加代子訳『女性と中国のモダニティ』（東京：みすず書房, 2003）
周蕾『婦女與中国現代性：東西方之間閱讀記』（台北：麥田出版有限公司, 1995）
Chow, Tse-Tsung. *The May Fourth Movement: Intellectual Revolution in Modern China*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press; 1960.
周策纵著、周子平等译『五四运动：现代中国的思想革命』（南京：江苏人民出版社, 1996）
Cohen, Paul A. *Discovering History in China: American Historical Writing on the Recent Chinese Past*. New York: Columbia University Press, 1984.
ポール A.コーエン著、佐藤慎一訳『知の帝国主義：オリエンタリズムと中国像』（東京：平凡社, 1988）
柯保安著，李榮泰等譯《美國的中國近代史研究：回顧與前瞻》（臺北：聯經出版，1991）
Dikötter, Frank. *The Discourse of Race in Modern China*. Stanford: Stanford University Press, 1992.
冯客著, 杨立华译『近代中国之种族观念』（南京：江蘇人民出版社, 1999）

Duara, Prasenjit. *Rescuing History from the Nation: Questioning Narratives of Modern China*. Chicago: University of Chicago Press, 1995.
杜赞奇著、王宪明等合译、王宪明、李海燕校『从民族国家拯救历史：民族主义话语与中国现代史研究』（北京：社会科学文献出版社, 2003）
Esherick, Joseph. *The Origins of the Boxer Uprising*. Berkeley: University of California Press, 1987.
周锡瑞编著、张俊义、王栋译『义和团运动的起源』（南京：江苏人民出版社, 1994）
Gálik, Marián. *The Genesis of Modern Chinese Literary Criticism (1917-1930)*. Trans. Peter Tkáč. London: Curzon Press; Totowa, N.J.: Rowman and Littlefield, 1980.
玛利安・高利克著、陈圣生等译『中国现代文学批评发生史：1917-1930』（北京：社会科学文献出版社, 1997）
高名凯、刘正埮著『現代汉語外来詞研究』（北京：文字改革出版社, 1958）
高名凱、劉正埮著、鳥井克之訳『現代中国語における外来語研究』(吹田：関西大学出版部, 1988)
Goldblatt, Howard. *Hsiao Hung*. Boston: Twayne Publishers, 1976.
葛浩文著、鄭繼宗譯『蕭紅評傳』（香港：文藝書屋, 1979）
Hsia, C. T. *A History of Modern Chinese Fiction, 1917-1957*. New Haven: Yale Univ. Press, 1961; 1977; Bloomington: Indiana University Press, 1999.
夏志清著、劉紹銘等合譯『中國現代小説史』（香港：友聯出版社有限公司, 1979）
Kinkley, Jeffrey C. *The Odyssey of Shen Congwen*. Stanford: Stanford University Press, 1987.
金介甫著、符家钦译『沈従文傳』（北京：时事出版社, 1990）
金介甫著、符家钦译『沈従文传：全译本』（长沙：湖南文艺出版社, 1992）
金介甫著、符家欽譯『沈從文史詩』（臺北：幼獅文化事業, 1995）
金介甫著、符家欽譯『鳳凰之子：沈从文傳』（北京：中国友誼出版公司, 2000）
小泉譲『魯迅と内山完造』（東京：講談社, 1979）
小泉譲『評伝魯迅と内山完造』（東京：図書出版, 1989）
★ Kowallis, Jon Eugene. *The Lyrical Lu Xun: A Study of His Classical-Style Verse*. Honolulu: University of Hawai'i Press, 1996.
★ Leary, Charles Leland. *Sexual Modernism in China: Zhang Jingsheng and 1920s Urban Culture*. Ann Arbor: UMI, 1994.
Lee, Leo Ou-fan. *Voices from the Iron House: A Study of Lu Xun*. Bloomington: Indiana University Press, 1987.
李歐梵著、尹慧珉譯『鐵屋中的吶喊：魯迅研究』（香港：三聯書店, 1991；長沙：岳麓書社出版, 1999；石家庄：河北教育出版社, 2000）
Levenson, Joseph Richmond. *Confucian China and Its Modern Fate: The Problem of Intellectual Continuity*. Berkeley: University of California Press, 1958
約瑟夫 R. 列文森、鄭大華, 任菁訳『儒教中国及其現代命運』（北京：中国社会科学出版社, 2000）
Lin Yü-sheng. *The Crisis of Chinese Consciousness: Radical Antitraditionalism in the May Fourth Era*. Madison: University of Wisconsin Press, 1979.

林毓生著、丸山松幸、陳正醍訳『中国の思想的危機：陳独秀・胡適・魯迅』（東京：研文出版, 1989）

林毓生著、穆善培译『中国意识的危机："五四"时期激烈的反传统主义』（增订本、贵阳：贵州人民出版社, 1988）

Lin Yutang. *A History of the Press and Public Opinion in China*. Shanghai: Kelly and Walsh, 1936.

林語堂著、安藤次郎、河合徹譯『支那に於ける言論の發達』（東京：生活社, 1939）

Masini, Federico. *The Formation of Modern Chinese Lexicon and Its Evolution toward a National Language: The Period from 1840 to 1898*. Berkeley: Project on Linguistic Analysis, University of California, 1993.

馬西尼著、黄河清譯『現代漢語詞匯的形成：十九世紀漢語外來詞研究』（上海：漢語大詞典出版社, 1997）

MacKinnon, Janice R. and Stephen R. MacKinnon. *Agnes Smedley, The Life and Times of An American Radical*. Berkeley: University of California Press, 1988.

ジャニス・マッキンノン, スティーヴン・マッキンノン著、石垣綾子、坂本ひとみ訳『アグネス・スメドレー炎の生涯』（東京：筑摩書房, 1993）

珍妮斯・麦金農、斯蒂芬・麦金農著、汪杉等訳『史沫特莱：一个美国激進分子的生平和時代』（北京：中華書局, 1991）

孟悦, 戴锦华『浮出历史地表：现代妇女文学研究』（郑州：河南人民出版社, 1989）

孟悦、戴錦華著、田畑佐和子訳「ことばを取り戻す女のたたかい：『歴史の地表に浮かび出る』序」（秋山洋子ほか編訳『中国の女性学：平等幻想に挑む』東京：勁草書房, 1998）

小野和子『中国女性史：太平天国から現代まで』（東京：平凡社, 1978）

Ono Kazuko. *Chinese Women in a Century of Revolution, 1850-1950*. Ed. Joshua A. Fogel. Trans. Kathryn Bernhardt, et al. Stanford: Stanford University Press, 1989.

小野和子著、高大论, 范勇编译『中国女性史：1851-1958』（成都：四川大学出版社, 1987）

大谷孝太郎『現代支那人精神構造の研究』（上海：東亜同文書院支那研究部, 1935）

小沢正元『内山完造伝：日中友好につくした偉大な庶民』（東京：番町書房, 1972）

小泽正元著、赵宝智、吴徳烈译『内山完造传：献身于日中友好事业的伟大公民』（天津：百花文艺出版社, 1983）

Průšek, Jaroslav. *The Lyrical and the Epic: Studies of Modern Chinese Literature*. Bloomington: Indiana University Press, 1980.

雅罗斯拉夫・普实克著、李燕乔等译『普实克中国现代文学论文集』（长沙：湖南文艺出版社, 1987）

銭杏邨（阿英）『晩清小説史』（人人文庫, 台北：台湾商務印書館, 1968）

阿英著、会沢卓司、長尾光之、山口建治訳『清末の中国小説』（沖縄：栄光堂, 1978）

阿英著、飯塚朗、中野美代子訳『晩清小説史』（東洋文庫, 東京：平凡社, 1979）

Russell, Bertrand. *The Problem of China*. New York: The Century Co., 1922.

バートランド・ラッセル著、牧野力訳『中国の問題』（東京：理想社, 1970）

さねとう・けいしゅう『近代日中交渉史話』（東京：春秋社, 1973）

實藤惠秀『中國人日本留學史稿』(東京：日華学会, 1939；東京：不二出版, 1993)
さねとう・けいしゅう『中国人日本留学史』(東京：くろしお出版, 1960；増補版、東京：くろしお出版, 1970)
實藤惠秀著；譚汝謙 ,林啓彦譯『中國人留學日本史』(香港：中文大學出版社, 1982；北京：生活・読書・新知三聯書店, 1983)
Schwartz, Benjamin. *In Search of Wealth and Power: Yen Fu and the West*. Cambridge, Mass.: Belknap Press of Harvard University Press, 1964.
B.I.シュウォルツ著、平野健一郎訳『中国の近代化と知識人：厳復と西洋』(東京：東京大学出版会, 1978)
本傑明・史華茲著、叶鳳美訳『尋求富強：厳復与西方』(南京：江蘇人民出版社, 1989)
施沃茨著、滕复、黄小榕、付小平译『严复与西方』(北京：职工教育出版社, 1990)
Vera Schwarcz, *The Chinese Enlightenment: Intellectuals and the Legacy of the May Fourth Movement of 1919* (Berkeley: University of California Press, 1986)
薇拉・施瓦支、李国英等訳、呉景平校『中国的啓蒙運動：知識分子与五四遺産』(太原：山西人民出版社, 1989)
Smith, Arthur H. *Chinese Characteristics*. New York: Revell, 1894; Safety Harbor, FL.: Simon Publications, 2001.
アーサー・エチ・スミス著、渋江保訳『支那人気質』(東京：博文館, 1896)
A.H.スミス著、白神徹訳『支那的性格』(東京：中央公論社, 1940)
亜瑟・亨・史密斯著、張夢陽・王麗娟訳『中国人気質：外国人的中国観』(蘭州：敦煌文芸出版社, 1995)
明恩溥著、匡雁鵬訳『中国人的特性：全譯本』(北京：光明日報出版社, 1998)
明恩溥著、秦悦訳『中国人的素質』(上海：学林出版社, 1999; 2001)
明恩溥著、林欣译『中国人的素质』(北京：京华出版社, 2002)
Spence, Jonathan D. *The Gate of Heavenly Peace: The Chinese and Their Revolution, 1895-1980*. New York: Viking Press, 1981.
史景遷著、張連康譯『知識分子與中國革命』(台北：絲路出版社, 1997)
Tu Wei-ming. *Confucian Thought: Selfhood as Creative Transformation*. Albany: State University of New York Press, 1985.
杜維明著、曹幼華、单丁訳『儒家思想新論：創造性転換的自我』(南京：江蘇人民出版社, 1991)
Tu Wei-ming. *Humanity and Self-Cultivation: Essays in Confucian Thought*. Berkeley: Asian Humanities Press, 1979.
杜維明著; 胡軍, 于民雄訳『人性与自我修養』(北京：中国和平出版社, 1988)
内山完造『魯迅の思い出』(東京：社会思想社, 1979)
内山完造著、尤炳圻譯『一個日本人的中國觀』(上海：開明書店, 1936)
内山完造著、尤炳圻訳『活中国的姿態：外国人的中国観』(蘭州：敦煌文芸出版社, 1995)
内山完造著、沈益洪编『内山完造谈中国』(杭州：浙江文艺出版社, 2001)
★ Zhang Yingjin. *The City in Modern Chinese Literature and Film: Configurations of Space, Time, and Gender*. Stanford: Stanford University Press, 1996.

［日本研究］

荒川惣兵衛『外來語辭典』（東京：冨山房, 1941）
荒川惣兵衛『外来語に学ぶ』（東京：新泉社, 1980）
荒川惣兵衛『日本語となった英語』, 1930
荒川惣兵衛『日本語となった英語：1931 年に於ける我国外来語の総記録』（東京：名著普及会, 1982）
Barshay, Andrew E. *State and Intellectual in Imperial Japan: The Public Man in Crisis*. Berkeley: University of California Press, 1988.
A・E・バーシェイ著、宮本盛太郎監訳『南原繁と長谷川如是閑：国家と知識人・丸山眞男の二人の師』（京都：ミネルヴァ書房, 1995）
平岡敏夫『明治文学史の周辺』（東京：有精堂出版, 1976）
亀井俊介『ナショナリズムの文学：明治の精神の探求』（東京：研究社出版, 1971：新版、東京：講談社, 1988）
Miller, Roy Andrew. *The Japanese Language*. Chicago: University of Chicago Press, 1967.
ロイ・アンドリュー・ミラー著、小黒昌一訳『日本語：歴史と構造』（東京：三省堂, 1972）
Yoshino Kosaku. *Cultural Nationalism in Contemporary Japan: A Sociological Enquiry*. London: Routledge, 1992.
吉野耕作『文化ナショナリズムの社会学：現代日本のアイデンティティの行方』（名古屋：名古屋大学出版会, 1997）

言語文化研究叢書　IX

社会開発学をめぐって

発行者：九州大学大学院言語文化研究院
〒810-8560 福岡市中央区六本松４－２－１
印　刷：2004年２月17日
発　行：2004年２月20日
編　者：徳　見　道　夫
印　刷：城島印刷有限会社
〒810-0012 福岡市中央区白金２－９－６
電話092-531-7102